

資料4 個人でできる防犯対策

地域ぐるみの対策も大切ですが、一人ひとりのこころがけも重要です。いろいろな犯罪に対する留意点を知っておきましょう。

車上ねらい

- ・現金、貴重品、バッグ等を車内に置いたまま車から離れないようにする。
- ・車外から小銭やバッグなどが見えないようにする。



自転車・オートバイ盗

- ・わずかな時間でもオートバイから離れる時はキーを必ず抜く。
- ・明るく監視の行き届いた駐輪場に置くようにする。
- ・補助錠をつける。
- ・防犯登録をすることにより被害にあった場合でも、発見しやすくなる。



空き巣

- ・ちょっとした留守でも必ず戸締まりをする。
- ・錠前は防犯性能の高いものをつける。
- ・出入口には主錠の他に、数多くの補助錠をつける。(ワン・ドア・ツー・ロック)
- ・風呂場の窓・トイレの高窓・ベランダのガラス戸なども忘れずに戸締まりをする。
- ・外出する時は、隣近所に声をかけて留守を頼んでおく。
- ・長期間留守にする時には、新聞や牛乳の販売店などに連絡しておく。
- ・防犯ベルやセンサーライトを取り付ける。



ひったくり

- ・バックやカバンなどは車道側とは反対の方に持つ。
- ・面倒でも人通りの少ない道や暗い道は避ける。
- ・自転車の前カゴに荷物を載せる場合には防犯ネットをつける。
- ・周囲への注意が散漫になるため、歩きながらの携帯電話の使用は避ける。



自動車盗

- ・車から離れる時は必ずドアをロックする。
- ・スペアキーを車内に置いたり、バンパーの裏などに貼り付けたりしない。
- ・盗難防止装置を設置する。

痴漢

- ・混雑する階段や改札の付近などからの乗車は避ける。
- ・出来るだけ友達などと一緒に乗車する。
- ・被害に遭ったら、勇気を出して「嫌だ」という意思表示をする。
- ・帰宅の際はなるべく同じ時間帯・同じ道順を避ける。

こどもの安全

- ・こどもが遊びに行くとき行先と帰宅時間などをきちんと知らせる。
- ・外では一人で遊ばないようにさせる。
- ・いざという時、逃げ込む場所や大声で助けを求める方法など教える。
- ・下校時は寄り道しないように言い聞かせる。

